



ベートーヴェンを考える

講師名 桐朋学園大学教授 西原 稔

講座内容 さまざまな名作を残したベートーヴェン。彼の生きた時代は、フランス革命、ナポレオン戦争、ウィーン会議などの歴史の大きな転換期でもありました。ベートーヴェンの創作した名作の数々はこうした歴史の出来事と深く結び付いています。この講座では幼年期から晩年までのベートーヴェンの生涯をたどりながら名作の生み出された背景を考え、それぞれの作品の聞き所やとらえ方などについて分かりやすく解説をしてみたいと思います。(講師・記)



<スケジュール>

1. 交響曲第7番と第8番 交響曲のスタイルの変質
2. 過渡的な様式の時代 民謡編曲とピアノ三重奏曲「大公」
3. 後期様式の入り口 ピアノソナタ第28番と、2曲のチェロ・ソナタ(第4番と第5番)
4. 「ハンマークラヴィア・ソナタ」はどのように読むべきか

<これまでのシリーズ>

- 第1回 若きボン時代のベートーヴェン 1770-1792年
- 第2回 ハイドンに師事して 1792-1796年
- 第3回 古典的な伝統への挑戦 1797-98年
- 第4回 「幻想的ソナタ」とは 「月光」や「テンペスト」を対象
- 第5回 ヴァイオリンソナタの名作の数々 「春」を中心に取り上げる
- 第6回 交響曲第1番の完成 初の自主演奏会の開催
- 第7回 「ハイリゲンシュタットの遺書」と創作の葛藤
- 第8回 偉大な創作への道 「ピアノ協奏曲第3番」と「英雄」の完成
- 第9回 偉大な創作への道 「ピアノ協奏曲第3番」と「クロイツェル・ソナタ」
- 第10回 ナポレオンとベートーヴェン 交響曲第3番「英雄」を中心に
- 第11回 ピアノソナタの転換期 「ヴァルトシュタイン」と「熱情」ソナタ
- 第12回 オペラ「フィデリオ」 オペラ史のなかの位置をめぐって
- 第13回 3曲の弦楽四重奏曲「ラズモフスキー」をめぐって
- 第14回 ピアノ協奏曲第4番とヴァイオリン協奏曲をめぐって
- 第15回 交響曲第5番をめぐって
- 第16回 交響曲第6番をめぐって
- 第17回 1808年12月22日の演奏会のプログラムより「合唱幻想曲」と「ミサ曲 八長調」
- 第18回 室内楽の革新 「チェロソナタ第3番」と2曲のピアノ三重奏曲(作品70)
- 第19回 ナポレオン戦争とベートーヴェン 「告别」ソナタと付随音楽「エグモント」
- 第20回 ピアノ協奏曲第5番「皇帝」と弦楽四重奏曲「ハーブ」と「セリオーソ」
- 第21回 交響曲第7番と第8番 交響曲のスタイルの変質
- 第22回 過渡的な様式の時代 民謡編曲とピアノ三重奏曲「大公」
- 第23回 後期様式の入り口 ピアノソナタ第28番と、2曲のチェロ・ソナタ(第4番と第5番)
- 第24回 「ハンマークラヴィア・ソナタ」はどのように読むべきか

8/18
9/1
9/15

日時・期間 第3週 金曜 15:30-17:00 7/21~9/15 4回

日程 2017年 7/21, 8/18, 9/1, 9/15